

令和 6 年度

事業者番号

0215

事業所番号

021500

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	
A	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	城西大学 硬式野球場		前年度における事業所数	11
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村	入間郡毛呂山町		
	字 ・ 地 番	西大久保字下原62番地		
当該事業所を含む事業所の名称 （※Bテナント等の場合のみ記入）				
産 業 分 類 名 （ 中 分 類 ）	81 学校教育			
分 類 番 号 （ 中 分 類 ）	81			
事 業 活 動 の 概 要	野球部の練習および試合等の部活動			

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO ₂	基準となる 原 単 位	0.0978 t-CO ₂ /㎡
	その他ガス	第2削減計画期間のエネルギー原単位の平均値を基準に、 毎年1%ずつ削減することを目指します。				

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO ₂	基準となる 原 単 位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	城西大学 硬式野球場	入間郡毛呂山町西大久保字下原62番地
2	学生駐輪場内灯	入間郡毛呂山町大字下川原 1285
3	学生駐輪場防犯灯	入間郡毛呂山町大字下川原 921
4	学生駐車場灯	坂戸市大字多和目 41
5	ソフトボール場夜間照明	坂戸市大字多和目 41
6	ラグビー場夜間照明	坂戸市大字多和目 45
7	テニス場電灯	毛呂山町大字下川原 1068
8	西戸グラウンド	毛呂山町大字西戸 359-2
9	薬用植物園 動力	毛呂山町大字下川原 1057
10	薬用植物園 電灯	毛呂山町大字下川原 1057
11	JOSAI SPORTS FIELD	毛呂山町大字下川原 500
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

（1）原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	62	80	80	77	

（2）計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	基準	132	168	167	159	
	前年度比（％）	—	27.3	-0.6	-4.8	
	基準となる排出量に対する削減率（％）					
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		132	168	167	159	

（3）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基準	0.0562	0.0715	0.0711	0.0677	
	前年度比（％）	—	27.3	-0.6	-4.8	
	基準となる原単位に対する削減率（％）	42.6	26.9	27.3	30.8	
活動規模の指標	単位					
	m ²	2,350.24	2,350.24	2,350.24	2,350.24	

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	増減に係る要因として、新型コロナ感染防止対策によりオンライン授業 ①前期(4月～9月)のエネルギー使用量が大幅に減少した。(稼働停止による) ②後期(10月～3月)のエネルギー使用量は増加した。 ③事業所が、1カ所増えた。(JOSAI SPORTS FIELD) 前期は、昨年と比較して電力が約22%、ガスが約93%の減少となったが、後期は各々が増加した形となった。特に後期は、稼働が通常におおむね戻ってきた点と増えた事業所が稼働し始めたため。当年度をトータルで見ると前期の減少幅が非常に大きいため、事業所が増えたにも関わらず排出量が微小であるが減少となった。
令和３年度 (2021年度)	2020年度と比較してCO2排出量が27.3%の増加となった。 主な要因は以下が考えられる。 ①すでに通常の授業に戻り、部活動においても同様の動きがあったため。 ②JOSAI SPORTS FIELDが本稼働となったため。 (2020年度は、9月の竣工以降に本格的に使用開始) 電力使用量は、2020年度と比較して各所で増加となり、特にJOSAI SPORTS FIELDにおいては約80%増となっている。 また、ガス使用量に関しても本稼働となった点からそのほとんどがエネルギー増加として結付き、結果としてCO2排出量の増加の概ねを占めることとなった。
令和４年度 (2022年度)	令和4年度(2022年度)は、令和3年度(2021年度)と比較してCO2排出量はほぼ同等となった。 年間の稼働状況に違いがないことが挙げられるが、エネルギーとしての電力とLPGおよび灯油といった区分で比較をすると、電力使用量に関しては約2%と微増しており、LPGの使用量はもともと少ないものではあるが約53%減少、また植物園で使用するボイラー用の灯油は約3%減少となっている。 LPGや灯油の使用量は、冬期(12月～3月)に集中する傾向がありこの期間に減少が見受けられるのは令和4年度の気温が令和3年度より温暖であったことも要因として挙げられる。そのため、電力使用量の増加分とLPGと灯油の減少量が相殺され令和3年度と同水準となった。
令和５年度 (2023年度)	令和5年度(2023年度)は、前年度と比較してCO2排出量が約5%弱の減少となった。 城西大学 硬式野球場の電力使用量は昼間と夜間共に前年度から減少していることから稼働状況の違いによるものと考えられる。 もともと、電力使用量のシェアも高いため事業所全体への影響度も高く、その結果が反映された形となっている。
令和６年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	野球場において電力使用量の使用実績をグラフ化して節電意識の向上を図る。 【実施済】		R1以前	
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	野球場の雨天練習場内水銀灯(400W×32台)、蛍光灯(40W×14本)をLED化とした。 【実施済】		R1以前	3.0
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

事業所番号	021500
-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（A、Bテナント等事業所用）

A事業所(5)

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄